

平成30年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	3. 職員厚生事業
項	1. 総務管理費	中事業	
目	2. 人事管理費	担当所属	人事課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
経常	単独	通常	0	0	15,186		平成28年度	-
							平成29年度	-
							平成30年度	-
							平成31年度	-
						平成32年度	-	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	1,743	
本年度当初査定額	1,743	18,035

財源内訳	諸収入						その他	一般財源
本年度当初要求額	0						1,743	△1,743
本年度当初査定額	1,743						0	16,292

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・ 職員の福利厚生に関する事業全般を行います。 ・ 主な事業としては、職員の健康管理、被服の貸与、千葉県市町村職員共済組合等と連携した福利厚生事業を行います。</p>	<p>(事業の目的) ・ 職場における職員の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を行います。 ・ 千葉県市町村職員共済組合等を通じた福利厚生事業を実施することで、職員の元気回復、職務能率の向上を図ります。</p>	<p>(事業の効果) ・ 職員定期健康診断、安全衛生委員会活動、予防接種、健康相談事業等の実施により、健康保持・健康管理を行います。 ・ 福利厚生事業を実施することで、職員の職務能率の向上を行います。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ストレス社会といわれる中、福利厚生事業の役割が大きくなっているため、適宜、事業の見直しを進める必要があります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 福利厚生事業の内容の充実及び見直しを継続的に図ります。</p>	<p>(見直しについての特記事項) ・ 健康診断受診率の向上を図ります。 ・ 被服の貸与者数の予測が難しい状況にあります。 ・ 社会情勢や職員のニーズの変化に伴い、福利厚生事業の見直しが必要であります。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
01	960	960	0
08	120	120	0
09	72	72	0
11	2,534	2,600	△66
12	13	13	0
13	11,810	11,978	△168
19	2,526	2,528	△2

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	20	05	04	01	10	01	職員健康診断助成金	900	900	1,271	△371
	20	05	04	01	50	16	職員健康診断負担金	818	818	788	30
	20	05	04	01	50	29	産業医報酬負担金	25	25	39	△14
	20	05	04	01	50	79	代用審査手数料	0	0	6	△6
差引一般財源								△1,743	16,292	△2,104	18,396